



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

7月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2012年(平成24年) 7月 1日(日)

NO. 131

かわること、かわらないこと

倫理研究所 文化部

中村正生

今回の出張も多くの会友にお世話になりました。改めて感謝申し上げます。何年後かに再び当地を担当する機会もあるかもしれませんが、今回が担当として最後の出張となりました。

思えば初めてロサンゼルス空港に着いたときは、右も左もわからず他の旅行者の後をひたすらついて行きました。入国審査を笑顔でごまかし、出口につくと草野文化部長と当時の梅本会長ご夫妻が待っていてくれました。あの時のお三方の笑顔にどれ程救われたことでしょうか。「ああ日本語が通じる…」今思えば懐かしい、語学の不得手な私のロスでの最初の感想です。

その後も時差ぼけになったり、出張の前日に高熱を出したり、愛猫が死にそうになったり(この猫、何と持ち直して今は元気にしています)、様々な経験をしました。現地では会員さんとハンティントンライブラリーやグリフィス天文台などに一緒にさせていただ

きました。またオフィスでのしきなみや秋津の例会やセミナー、懇親会と様々な思い出を頂きました。

長いようで過ぎてしまえばあつという間の五年間でした。お世話になったお礼を自分にお返しすることなく、担当を終えるのは心苦しいですが、何事も変化は起きるものです。

倫理には「易不易の原理」と言う原理があります。

「易」は「かわる」こと、「不易」は「かわらない」ことを言います。人間個人を見れば痩せたり、太ったり、病気になるったり、直ったりと変化します。しかし人間全体を見れば、目は二つ、鼻は一つ、立って歩くなど時代によって変化しないのです。別の言い方をすれば、かえるべきはかえて、かえてはいけないものをかえないことが大切です。

担当がかわることは、私にとっても、皆さんにとっても意味があつたことだと思えます。私はロスで得た経験を新たな地での倫理普及に役立てるでしょう。皆さんは別の経験を持った担当を迎えるこ

とで、新たな学びをされるでしょう。しかし純粹倫理を学ぶということはかわりがありませんが、その手段・手法が少し変わるだけです。純粹倫理という同じ根っこに繋がってはいますので、本当はお別れではないのです。

皆さんと知り合えて、共に学んだことは、私の中で消えることはないでしょう。万が一、再び会うことがなくても繋がっているのです。ロサンゼルスで経験した事一つ一つを忘れずに、今後の仕事に役立てたいと思います。愛情豊かに私を育てて頂き誠にありがとうございました。

過ぎみれば刹那の如き五年間ロスの美空の青く青くあり



中村正生先生、

ありがとうございました。

## 新原隆一先生最後の ご出張

新原隆一国際部長は今回で国際部の担当を終えられます。二〇〇二年九月より担当して頂いて十年間お世話になりました。

十年の間には純粹倫理の学び、文化講演会の講師派遣、各倫理セミナーの講師派遣、辞令交付、会員総会、其の他本部と私共との調整を、人事、財政、総務と、いろいろの面からお世話頂きました。まことに感謝に耐えませんが新原先生のセミナーに参加しましょう。BBQ、茶話会も参加して新原先生に長年のお礼を申し上げます。

七月十一日(水) 午後六時  
会員セミナー

(於オフィス)  
七月十三日(金) 午後五時  
懇親会BBQ

(於門園美枝子宅)  
七月十五日(日)

午前八時半〜十時  
講話とセミナー  
午前十時〜十一時半  
茶話会

(於オフィス)

### しきなみ短歌会

六月二日（土）午前十時〜十二時、中村正生専任講師を迎え、第二百十八回めの短歌会を倫理研究所オフィスにて行う。五年のご指導を頂いた中村講師との最後の短歌会でもあった。

倫理USAが始めて行った子供短歌コンクールの成果、六月からの昇格者の名前、次回の新講師の紹介などから始まり、会員の短歌の一句一句に丁寧なご指導を頂いた。

例えば「の」の重複は良いが、「に」「て」は避けたほうがよい。短歌用漢字の詠み方、「気持良さそう」的表現はその光景や動きで表現するよう、表現したいところが一杯あって一首一感動にできない時は連作にする、などである。

最もよい短歌はどんな作品か？という質問に「叙景と抒情が織り込まれている作品」という答えを頂く。会員皆、講師の一言一言に耳を傾け、そしていつもながらの活発な質問の出した短歌会だった。

### 高点赞

「お帰り」と迎えてくれる家に着く一年ぶりの母の笑む顔

大川敏子

（出席者十五名）

（松永典子記）

### 秋津書道

六月二日（土）午後一時半より三時半、中村正生講師をお迎えして、書道教室が催されました。丁度七月の競書が半切に書く大きい作品だったので、それについてお話いただきました。

一応お手本として先生方の書かれた作品が出てますが、これはあくまでも参考にと言うことで、この通りに書くと言うことではありません。むしろのびのびと、自分の思うように書いて下さいと言われ、何か肩の力が抜けてホッとしたような気分になされた感じがしました。先生のお言葉通り心豊かに書道を、楽しんでゆきたいものと思えました。

中村先生 五年間、短歌書道と、ご指導給わりほんとうに有難うございました。楽しく学ばせて頂きました・・・

何時の日か又お目にかからせて頂けることを、楽しみにしております。

（出席者十四名）

（長谷川公子記）

### 懇親会バーベキュー

六月三日（日）、中村正生先生のセミナーがありました。今回は最後の十回目でした。

倫理のあとすぐ門園美枝子普及副部長宅へ集合して先生を囲んでバーベキューが始まりました。女性も男性もてきぱきと支度をはじめ、大きなステーキが何枚も焼かれおいしいにおいが漂いました。ステーキのあとはこれまた大きなえびがたくさん焼かれました。

サラダ、漬物、ごはん、炊き込みご飯・・・とテーブルにところ狭しと並びみんなで乾杯をして食べ始めました。お肉も、えびもたくさんいただくことが出来ほんとうにおいしかったです！

最後にケーキカットを先生にしてもらいました。日本ではな

かなか出来ないバーベキューを先生は喜んで楽しんで下さったと思います。またいつかいらして下さることを願います。

（参加者二十三名）

（柳川記）



### しょうゆBBQ

三班 前田グレース

ステーキミート-----2 ~2 1/2 ポンド

#### 【メリネー】

しょうゆ-----1/2 cup

ウイスキー -----1/4cup

サラダ油-----1/4cup

にんにく、しょうが 各1かけ（すりおろす）

※全部を混ぜ合わせて、肉を45分間漬ける。

※大好評だったBBQのレシピです。グレースさん、ありがとうございました。

## 倫理セミナー

六月三日（日）の倫理セミナーは、今回十回目の訪米で五年間御指導していただいた、中村正生文化部主事最後のセミナーとなりました。

本日の講話〈捨我得全〉から入られ、本日の本題である〈生活の中の美〉についてそのまま移っていかれました。

短歌を作るには、感動がないとできない。普段から気をつけていると、挨拶だけを取っていてもその人の声のトーンによって、その人の生活が、わかってくるようになる。そうすると、普段行っている当たり前のことが、当たり前でなくなってくる。そして、普段の生活のなかより本当に大切なものを見つめることにより、何か感動するような生き方になり、その先に感謝という気持ち湧いてくる。そういう気持ちでいると、当たり前の挨拶が、当たり前でなくなり、私の為になりたいな、という感謝の気持ちになる。こういう当たり前の生活から、相手優先の生活に変えることにより、

〈生活の中の美〉というものが生まれてくる。

また先生は、習字を例に取られて、習字は、改まって書く所がいいところがあるといわれました。というのは、普段の生活で、墨を使って筆で、字を書きません。そうした、普段の生活からちよつと離れた次元から、普段の自分の生活を見てみないといわれて、富士山の登山中には、富士山のきれいな山全体は、見えないが、離れた所から見ると、美しい富士山の全景を見る事ができる。ということを例に取られて話されました。

ですから、自分を見つめるには、少し離れてみてみると見えてくる。一つの例として、書道をする事によって自分の大事なものが見えてくる。ということもいえる。

当たり前の生活とは、倫理では、人と人とが、仲良く暮らすということ、そうするためには、普段の生活の中で、わがままを捨て、相手がこうしたら喜ぶだろうということを考え実践する。いくら頭で理解をしても、心が伴わなければ無意味

です。常に日常の生活から反射的な心を捨てるということ、その見極める目を育てる練習をし、磨き高める、そうすると、普段の生活の中の美というものが、見えてくるのでしよう。

中村先生、五年間ご苦勞様でした。そしてありがとうございます。（参加者四十一名）

（尾崎勝宏記）

## 中村正生先生

二〇〇七年九月から二〇一二年八月まで担当、しきなみ短歌、秋津書道を通して純粋倫理を教えて頂きました。

・・・・・・・・・・・・・・・・

## 【自然との対話】

ヒマラヤ山脈をはじめとする、世界の最高峰に登頂してきた登山家の栗城史多（くりきのぶかず）氏は、「自然との対話」を大切にしています。登山は常に危険と背中合わせ

せの状況です。氏は厳しい環境に身を置き、自然の中で生かされている自分を感じたといいます。

ある時、山頂が近づく中で体が思うように動かなくなった際、苦しみに対抗しようとしても力が発揮できませんでした。ところが苦しみを受け入れて、「ありがとう」と口に出すと、力が湧いてきたと振り返ります。

困難な状況の中であって、自然との対話の中で感謝の言葉を発したことにより、底知れぬ力が蘇ったというのです。

私たち職場人も、周囲に対して感謝の言葉を使うことによって、コミュニケーションを深め、円滑な人間関係を築くことができます。

感謝する場面に遭遇した際はもちろん、困難な状況に置かれた際も、すべてを受け入れて「ありがとう」と口に出し、自身の気力を高めていきましょう。

今日のこころがけ

感謝の言葉を習慣化しましょう  
『職場の教養』より

おめでとうございます

『しきなみ』六月号

入選 松永典子 群螢集（東京）

『秋津書道』六月号

入選 梅本豊造 高等部（東京）

入選 長谷川松子 高等部（東京）

入選 咲田静子 一般部 草書（東京 東部）

一席 竹内康子 一般部 楷書（東京）

五席 トイフェル佳江 一般部 楷書（東京）

九席 小倉治望 一般部 楷書（東京）

短歌のできた境地 (62)

狭きドア前に後に車椅子

操る夫は根気の人なり

松永 典子

「主人は今回の自分の病気に対し死にいたる大きなものであったにも関わらず、医者や看護師に愚痴りませんでした」と松永さん。

車椅子生活に入ることになり、不器用だと思っていたご主人は、家の中で手や肘をぶつけながらも、一c mごとの前後移動を何度も繰り返しては、部屋の出入りをされたそうです。

「退院後すぐは時間がかかり、その間、私がトイレに行くこともできませんでした。今では水を飲む底力を、称えている松永さんの視線が、彼をまた奮い立たせているのではないのでしょうか。」

「しきなみ短歌会」定期昇格次の方々昇格されました。

〈群螢集へ〉

梅本和子、草野律子、長谷川松子

〈真砂集へ〉

摺木洋子

おめでとうございます。



梅本豊造さんの作品です。秋津書道会の高等部です。オフィスに展示してありますので、ご覧下さい

しきなみ短歌

東北の永久に悲しき三月の深き碧の海のか  
がやき 吉成光一

あちこちをはちどり鳴く声聞こえくるボル  
ポアパークの櫻並木に 橋高比呂美

玄関に置かれたままのスパイクを横目で見  
つつ子は外に出る 伊澤潤子

息子（こ）の言いぬ何もいらぬが昔見た吾  
れのオメガが在ればほしいと 梅本豊造

預かりし子犬に何時しか癒されて言葉柔ら  
か吾にはつとす 梅本和子

誰かつけし名前かボケの朱の花は春陽に映  
えて冴えざえと咲く 門園美枝子

大雨は明日午前との予報あり早湿りたる土  
の匂いす ホン史子

無機質の黒く光れる車椅子夫は挑みつ二つ  
の大輪 松永典子

「あんたの短歌（うた）毎月ちゃんと見てる  
ヨ」とう一年振りの笑顔に出会う 草野律子

誇らしく鶏かみて我が犬は吾に見せんと走  
りて来たり 摺木洋子

お義理にもハッピーイースターと吾娘は言  
う心うれしく受けて祈りぬ 山内洋一

まだ寒く感じる午後どこからか沈丁花の  
香春を知らせる 松元依子

夢見草湯のみにひらり舞いおりて一氣に飲  
みほす清水の茶屋に 大川敏子

心こめて心という字ふとぶとと懸命に書く  
秋津の友は 滝川歌子

裏庭の野菜畑に種まきて春の陽気に実る陽  
待てり 奥本洋子

夫逝きし歳となりたる誕生日いつの日かゆ  
かん君の傍（かたえ）に 杉野和子

アメリカに来た当事には探してたすし屋が  
今はずらりと並ぶ 長谷川松子

日々の中やることあれこれ重なりて気の澄  
む感じ遠ざかるなり 塩出笑子

食べるところ少なしと思う小蟹捕る夜明け  
の海に老いの三人が 伊勢田豊

吐く息にふわり浮き上がりゆつくりとまた  
落ちてゆく明け方の雪 中村正生